

オカムラグループのサステナビリティ課題・KPIとSDGs

1 人が集う場の創造

サステナビリティ方針 確かな品質と安全性を追求した創造性豊かな製品・サービスを社会に提供し、新しい価値・市場・トレンドの創造に挑戦し続けます。
中期目標（～2022年度） お客様にとって真に価値のある製品や空間づくりを提案・提供し、さらにイノベーションを誘発することで社会課題の解決に貢献します。
ESG分類:S(社会)

「課題」にある数字のマークは関連するSDGsを示しています。
 自主評価の凡例 =目標達成 =一部未達 =未達

課題(重点課題は★)	KPI	2020年度目標	2020年度実績	2021年度目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
★ モノ・コトづくりの クオリティの追求 8 9 11 17	中期経営計画参照 (2020年5月13日開示・中期経営計画の策定に関するお知らせ https://www.okamura.co.jp/company/ir/news.html) ● 社会にとって真に価値ある製品や空間づくりを提案・提供 ● 自らがイノベーションを起こし、真に価値ある空間の提供により社会全体のイノベーションを創発		● 事業におけるサステナビリティについて方向性を明確化 ● 新型コロナウイルス感染症対策製品・サービスの開発・販売 	● ニューノーマルな社会で多様なワークスタイルを実現 ● サステナブルな社会を実現するワークプレイスを提供 ● 労働力人口減少への対応 ● 気候変動の緩和に貢献								8.2 8.5	9.4 9.5		11.3 11.5 11.7							17.17	
★ イノベーションの推進と 新しい価値の創造 3 8 9 10 11 17	* 2020年度は年度管理せず						3.3 3.d					8.2 8.5	9.5	10.2	11.7								17.17
★ 安全な製品・サービスの提供 9 12	重大製品事故発生件数 * 重大製品事故の定義:当社製品により、生命・身体に重大な被害を及ぼした事故、および製品以外の財産に火災等の重大な被害を及ぼした事故	0件	0件 	0件									9.5			12.4							


2 従業員の働きがいの追求

サステナビリティ方針 健康と安全に配慮した職場づくりに努め、従業員一人ひとりの多様性を尊重した上でそれぞれが働きがいを感じ、互いに協力し、自己成長できる環境をめざします。
中期目標（～2022年度） 多様な人財が活躍できる制度や仕組み作りと職場改善に取り組み、自らが意識を変え行動することによって、いきいきと働ける環境を追求します。
ESG分類:S(社会)

課題(重点課題は★)	KPI(オカムラ単体)	2020年度目標(オカムラ単体)	2020年度実績	2021年度目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
★ ワークインライフの推進 ～WIL-BE^{*1}～ 3 8	WIL-BEおよび Work in Lifeの理解度	[2021年度までに 80%超 達成に向けた取り組み推進	目標に向けて、2019年度に比べ理解度は大幅に上昇。(アンケート結果より) ● WIL-BE 70.7% (2019年度55.4%) ● Work in Life 73.0% (2019年度59.4%) 	[2021年度までに 80%超 達成に向けた取り組み推進			3.d					8.5											
★ ダイバーシティの推進と 公正な評価 ～Work Rule^{*1}～ 5 8 10	女性従業員比率	21%	20% 	21%																			
	障がい者雇用率	2021年6月1日時点で 2.3%以上	2021年6月1日時点で 2.5% 	2022年6月1日時点で 2.5%以上																			
	女性管理職および管理職候補者数	[2021年度末で2019年度実績の 1.5倍]達成に向けた取り組み推進	2020年度末時点では、 1.13倍 	● [2021年度末で2019年度実績の 1.5倍]達成に向けた取り組み推進 ● 女性管理職の人数向上に向け、候補者の母数を増やす施策を実施する					5.1 5.4 5.5				8.5		10.2 10.3								
	新卒女性採用比率	40%	20% 	40%																			
	育児休職からの復職率	男女ともに 90%	男性 100% 、 女性 92.9% 	男女ともに 90%																			
育児休職の男性従業員取得者数	男性従業員の育児休職取得促進策の実行	7名 	男性従業員取得促進策の実行																				

*対象範囲:オカムラ単体 *1詳細→P.110

オカムラグループのサステナビリティ課題・KPIとSDGs

課題(重点課題は★)	KPI(オカムラ単体)	2020年度目標(オカムラ単体)	2020年度実績	2021年度目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
★ 自己成長できる 職場環境の整備 ～Human Development*1～ 4 8	相互理解によりチームと個のパフォーマンスを高める ●新入社員インストラクター面談実施率 ●育成面談(7月・8月)実施率 ●目標管理面接(4月・10月)実施率	各項目 100% 実施およびアンケートによる効果検証	●新入社員インストラクター面談実施率 52% ●育成面談(7月・8月)実施率 88.2% ●目標管理面接(4月・10月)実施率 92.2% 	各項目 100% 実施を目指す																			
	主体的に学ぶ意欲を支援する ●e-ラーニング受講率	公開講座型e-ラーニングの拡充(補助制度あり) ●自己負担によるe-ラーニング受講者 15%	●e-ラーニング受講者 5% 	●自己負担によるe-ラーニング受講者 8%				4.7					8.5										
	2020年度、自分が「なりたい姿」を学ぶ場として企業内大学「オカムラユニバーシティ(オカユニ)」を開設 ●受講者の満足度	新たな取り組みのため、数値目標は2021年度から設定	企業内大学「オカユニ」開校受講者の満足度: 65点 	「オカユニ」受講者の満足度 80点																			
健康と安全に配慮した 職場づくり 3 8	有給休暇平均取得率	70%	57.2% 	70%																			
	一般定期健康診断受診率	100%	100% 	100%																			
	ストレスチェック受検率	100%	98.1% 	100%			3.4 3.5 3.a 3.d					8.5											
	喫煙率	30%	29.5% 	28%																			
	「積極的支援」「動機づけ支援」の対象者比率(40歳以上の健診受診者)	各 12%・6%	各 15.8%・9.9% 	各 12%・6%																			
チームワークによる業務の遂行 8 17	話し合い*2実施率	100% 実施	48.4% ※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020年4月～9月の期間実施を中止としたため 	100% 実施								8.5										17.16	

*対象範囲:オカムラ単体
*1詳細→P.110 *2話し合い:職場課題や環境の改善のための全社取り組み

オカムラグループのサステナビリティ課題・KPIとSDGs

3 地球環境への取り組み

サステナビリティ方針 事業活動におけるサプライチェーン全体を通じて地球環境負荷の低減を徹底することで持続可能な社会づくりに貢献していきます。
中期目標（～2022年度） 環境活動を実践して「エコの種」を育て、環境活動を通じて生み出された製品やサービス、「エコの実」をお客様に提供します。（詳細→P.78）
ESG分類：E（環境）

課題（重点課題は★）	KPI	2020年度目標	2020年度実績	2021年度目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
★ 気候変動への対応 7 13 15	1-1 地球温暖化防止対策の推進 ● エネルギー生産性向上 ● 物流における温暖化防止	エネルギー生産性向上前年度比 1%向上 ● 生産系サイト原単位低減 ● 事務所系サイト原単位維持 ● 物流CO ₂ 排出量削減	エネルギー生産性向上前年度比 2.5%向上 ● 生産系サイト1.5%低減 ● 事務所系サイト9.7%低減 ● 物流CO ₂ 排出量3.6%削減 	エネルギー生産性向上前年度比 1%向上 ● 生産系サイト原単位低減 ● 事務所系サイト原単位維持 ● 物流CO ₂ 排出量削減 温室効果ガス排出量 1,000t-CO ₂ /年削減 ● 工業用燃料1%削減 ● 車両用燃料5%削減							7.2 7.3 7.a						13.1		15.1 15.2		
★ 資源の有効活用 6 7 12 14 15	1-2 省資源・廃棄物削減による資源循環の推進 ● 配送・施工系廃棄物のリサイクル率向上 ● マニフェストの電子化の運用評価 ● ゼロエミッションの継続と対象範囲の拡大	● 処理業者リサイクル率評価継続 ● 施工系廃棄物電子マニフェスト運用 ● ゼロエミッションの継続と配送センターの範囲拡大	● リサイクル率把握と実績評価実施 ● マニフェストの電子化拡大 ● ゼロエミッションの継続と対象範囲の拡大 	● 生産廃棄物原単位維持 ● 施工・配送廃棄物のゼロエミッションと電子マニフェストの継続と対象範囲の拡大						6.3 6.4	7.3					12.4 12.5		14.1	15.1 15.2		
★ 製品ライフサイクルを通じた環境配慮型製品・サービスの提供 6 7 9 12 13 14 15	1-4 製品開発における環境配慮型企画と設計推進 ● 製品開発率の向上（グリーンウェブ・グリーンウェブ+開発製品管理） ● 製品環境情報管理の改善（SDSを更新と改善） ● アセスメント管理の精度向上（事業領域別チェック項目の見直し）	● グリーンウェブ、グリーンウェブ+販売比率、提案率の向上 ● オフィス・店舗の環境提案率の向上	● 事業領域別の販売比率把握継続実施 ● 環境負荷低減製品の提案を継続実施 	● グリーンウェブ、グリーンウェブ+販売比率、提案率の向上 ● オフィス・店舗の環境提案率の向上						6.3	7.a		9.4			12.2 12.3 12.4 12.5 12.7 12.8	13.1	14.1	15.1 15.2 15.3 15.4 15.5		
生物多様性の保全 6 13 14 15 17	● 森林資源の持続可能な利用の推進 ● ACORN活動の積極的推進：環境教育、社会貢献活動の実施	● 国産材・地域材の利用拡大 ● ACORN活動の積極的推進	● 国産材・地域材の利用拡大 ● リモート環境授業の実施 	● 国産材・地域材の利用拡大 ● ACORN活動の積極的推進						6.3 6.6							13.1	14.1	15.1 15.2 15.3 15.4 15.5		17.17
環境汚染の防止 6 11 14 15 17	5-1 汚染予防・有害化学物質対策 ● 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染防止法令遵守 ● 高濃度PCBの適正管理と水銀含有廃棄物の適正処理 ● フロン関連設備の点検実施と漏洩量管理	法令に対する監視項目管理	監視実施、違反等無し 	法令遵守の継続実施						6.3								14.1	15.1 15.2		17.17
	1-3 環境影響度の低減 ● PRTR 排出	● PRTR 排出移動量前年度比 1% 原単位低減	● PRTR 排出移動量前年度比 12.3% 原単位低減 	● PRTR 排出移動量前年度比 1% 原単位低減 ● 水資源使用量前年度比 1% 原単位低減											11.6						

*番号はオカムラグループ 環境目標より

